

翻訳サービスに関する JIS 制定

— 翻訳の品質向上を目指して —

2021 年 3 月 22 日

グローバル社会において、様々な言語が使用される中で正確に意思疎通を図るため、翻訳の品質が重要となります。このため、翻訳サービス提供者が品質を確保するための要求事項に関する国際一致規格の JIS を制定しました。これにより、翻訳サービスや翻訳プロセスにおける品質要求事項が標準化され、品質の向上や翻訳サービス利用者の選択の目安となることが期待されます。

1. JIS制定の目的

グローバル化が進む中、製品やサービスの提供にあたって関連する様々なドキュメント類の翻訳を必要とする機会が多くなっています。翻訳においては誤訳がないのは当然のことながら、内容を正確に伝えるためにその国ごとの文化的、社会的な背景や技術分野などを理解した上で、より正しい文章表現を行うことが求められます。このような翻訳の品質を確保するため、国際的には、欧州各国間における多数のドキュメント類の翻訳経験を基に、翻訳サービス提供者が実施すべき手順(依頼者との契約や仕様の決定、翻訳プロセスにおける品質要求事項など) について、ISO 17100 として制定されています。

こうした中、翻訳サービスの一層の品質向上を図り、グローバル社会への対応を推進するために、この ISO 17100 の国際一致規格として、JIS Y 17100 (翻訳サービス—翻訳サービスの要求事項) を制定しました。

なお、この JIS は、2019 年 7 月の産業標準化法施行後に新たに JIS の対象となったサービス分野の規格です。

2. 制定する JIS の主なポイント

この JIS の特徴は、翻訳サービスを一つのプロジェクトと捉え、プロジェクト管理によって翻訳成果物の品質を確保することであり、翻訳サービス提供者(翻訳会社、個人翻訳者など)が備えるべき要求事項及び発注者(クライアント)と決定すべき事項などについて規定しています。

(1) 人的資源

翻訳の実務者(翻訳者、バイリンガルチェック担当者、モノリンガルチェック^{※1}担当者及びその他の専門家)が備えるべき専門的力量及び資格を定めています。

※1 訳された言語がクライアントと合意した目的に対して適切であるかどうか確認する編集作業。

(2) 技術的資源

必要に応じて整備すべき通信機器や保存、検索等に必要な技術的機器、専門用語管理システム等について定めています。

(3) 制作準備段階のプロセス

引き合いや見積り、クライアントと翻訳サービス提供者との合意を書面で行わなければならないことや合意に含めてもよい項目を参考として示しています。その合意には、例えば専門用語やスタイルガイド^{※2}などのクライアントからの提供があります。

※2 統一した言葉遣いを規定する手引き

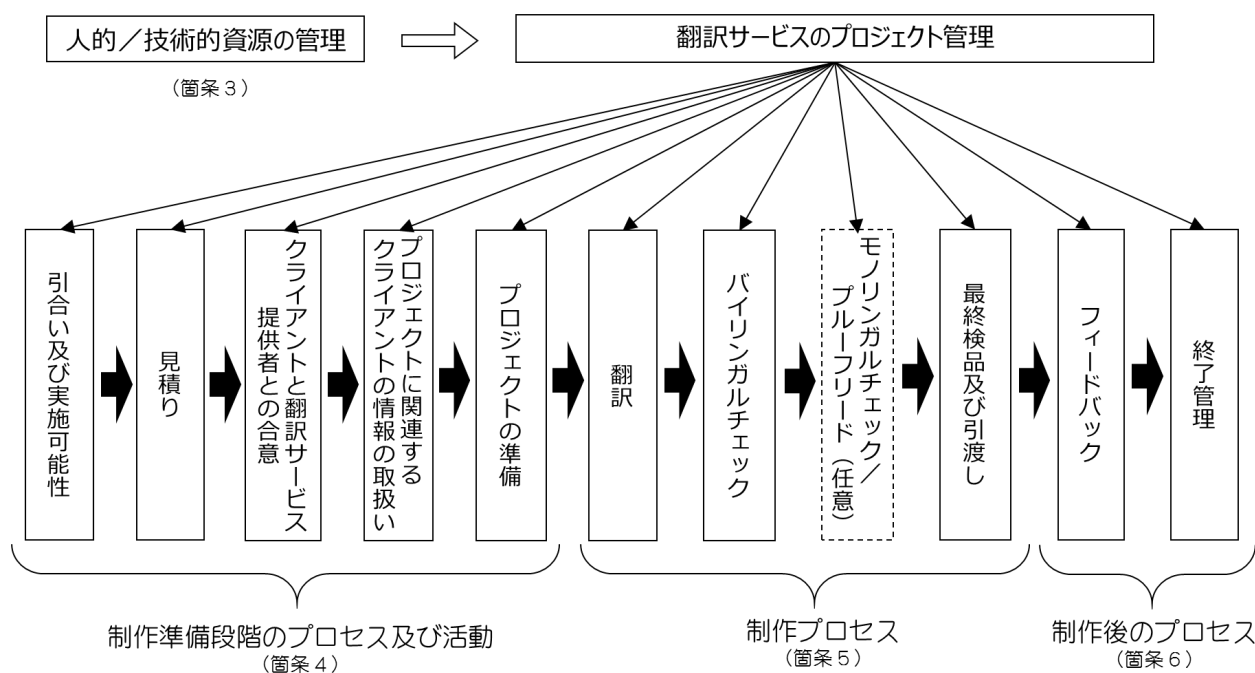
(4) 制作プロセス

プロジェクト管理及び各プロセス（翻訳プロセス、翻訳者チェック、バイリンガルチェック、モノリンガルチェック、最終検品及び引き渡しなど）について定めています。

(5) 制作後のプロセス

クライアントからのフィードバック処理、修正、終了後の記録の維持やデータの保護などのプロセスを整備するよう定めています。

なお、この JIS は人手で行う翻訳を対象としており、機械翻訳などは対象外としています。



※3 ブルーフリードとは、バイリンガルチェック済みのものを検査し、修正を行うこと。

図 JIS で規定しているプロセスの概要と箇条との関係

3. JIS 制定の期待効果

この JIS が制定されることにより、翻訳サービスや翻訳プロセスにおける品質要求事項が標準化され、品質の向上や翻訳サービス利用者の選択の目安に資することが期待されます。また、この JIS に基づいた翻訳サービスが実施されることで、クライアントが求める翻訳の品質水準やその品質を確保する手段、翻訳サービス提供者からクライアントに対して依頼すべき事項などが明らかとなり、両者の誤解に基づく翻訳完了後のトラブルなどを防止することができます。

※日本産業標準調査会 (JISC) の HP (<https://www.jisc.go.jp/>) から、「Y17100」で JIS 検索すると本文を閲覧できます。

【担当】 経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 (e-mail: s-kjun-ISO@meti.go.jp, 03-3501-9277)
(課長) 黒田 (担当) 藤澤、堀坂